

第10回久留米総合病院理域連絡協議会 議事概要

【日 時】令和6年3月1日

【議 題】令和4年度事業報告

【協 議】書面による協議

【出席者】

区 分	所 属	氏 名
医療関係	久留米医師会長	植田 省吾
医療関係	久留米大学病院長	野村 政寿
行政関係	久留米市保健所長	吉田 まり子
行政関係	久留米市健康福祉部長	宮原 義治
行政関係	久留米広域消防本部消防長	黒岩 竹直
学識経験者	青翠法律事務所弁護士	大 脇 久 和
地域住民代表	櫛原町自治会長	青 沼 誠(欠席)
利用者代表	利用者代表	東 光 敏(欠席)
利用者代表	利用者代表	遠 坂 夕工子
病 院	久留米総合病院長	田 中 眞 紀

【概 要】

1. 連絡協議会設置要綱について
2. 委員紹介
3. 令和4年度の取組について

第10回 地域連絡協議会

令和4年度事業報告

独立行政法人地域医療機能推進機構
JCHO（ジェイコー）久留米総合病院

令和6年3月1日



独立行政法人地域医療機能推進機構 久留米総合病院

第10回 地域連絡協議会 議事次第(書面協議)

- 1 連絡協議会設置要綱について 資料①
- 2 委員紹介 資料②
- 3 令和4年度の取り組みについて
 - ・ 基本情報 資料③
 - ・ 医療政策の取り組みについて 資料④
 - ・ 診療活動の記録 資料⑤
 - ・ 令和4年度に取り組むべき課題の実績 資料⑥
 - ・ Kic s (K u r u m e I n t e g r a t e d C a r e System)における当院の取り組みについて 資料⑦
 - ・ 久留米警察署からの協力依頼 資料⑧
 - ・ 地域住民への教育・研修 資料⑨
 - ・ 救急搬送患者数 資料⑩
 - ・ 新型コロナ患者入院受入状況について 資料⑪
 - ・ 手術症例件数（全身麻酔）推移 資料⑫
 - ・ 診療科別手術件数 資料⑬
 - ・ 化学療法延件数 資料⑭
 - ・ 患者満足度調査結果 資料⑮

独立行政法人地域医療機能推進機構 久留米総合病院地域連絡協議会設置要綱①

(設 置)

第1条 独立行政法人地域医療機能推進機構法第20条の規定に基づき、独立行政法人地域医療機能推進機構 久留米総合病院（以下「久留米総合病院」という。）に久留米総合病院地域連絡協議会（以下「地域連絡協議会」という。）を設置する。

(目 的)

第2条 久留米総合病院は、地域医療・地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応えるため、地域連絡協議会を開催し、病院の利用者その関係者の意見を聴取し、運営の参考とすることを目的とする。

(構成員)

第3条 地域連絡協議会の構成員は次のとおりとする。

- (1) 病院代表（病院長）
- (2) 行政（久留米市、久留米市保健所、久留米広域消防本部）
- (3) 久留米医師会
- (4) 連携医療機関
- (5) 学識経験者（弁護士）
- (6) 患者、患者家族代表者

2.委員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。

(開 催)

第4条 地域連絡協議会は病院長が招集して開催し、議長となる。

2.地域連絡協議会には、必要ある時は、構成員以外の出席を求め、その者の意見あるいは説明を受けることができる。

3.地域連絡協議会は、原則として年複数回開催する。但し、構成員が必要と認めたときは、随時開催することができる。

(事務局)

第5条 地域連絡協議会の事務局は、総務企画課が担当する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は別に定める。

附則

この要綱は、平成26年6月1日から施行する。

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

久留米総合病院地域連絡協議委員紹介②

(令和5年度委員名簿)

区 分	所属	氏 名
医療関係	久留米医師会長	植田 省吾
医療関係	久留米大学病院長	野村 政壽
行政関係	久留米市保健所長	吉田 まり子
行政関係	久留米市健康福祉部長	宮原 義治
行政関係	久留米広域消防本部消防長	黒岩 竹直
学識経験者	青翠法律事務所弁護士	大 脇 久 和
地域住民代表	櫛原町自治会長	青 沼 誠
利用者代表	利用者代表	東 光 敏
利用者代表	利用者代表	遠 坂 夕子
病 院	久留米総合病院長	田 中 眞 紀

(事務局)

久留米総合病院長補佐	牛嶋 公生
久留米総合病副院長	松隈 則人
久留米総合病副院長	枝國 節雄
久留米総合病 統括診療部長	亀井 英樹
久留米総合病 事務長	小野 豊美
久留米総合病 看護部長	入部 直子
久留米総合病 事務長補佐	鶴 洋
久留米総合病 事務長補佐	久保 秀一
久留米総合病 事務長補佐	丸山 耕作

病院基本情報③

- 1.施設名：独立行政法人地域医療機能推進機構 久留米総合病院
- 2.所在地：〒830-0013 久留米市櫛原町21番地
- 3.連絡先：☎0942-331211 ✉main@kurume.jcho.go.jp
- 4.管理者：院長 田中 真紀（乳腺外科）
 院長補佐 牛嶋 公生（産婦人科）
 副院長 松隈 則人（消化器内科）
 副院長 枝國 節雄（腎臓外科）
 統括診療部長 亀井 英樹（外科）
 事務長 小野 豊美
 看護部長 入部 直子
- 5.稼働病床：急性期一般146床 地域包括ケア8床
- 6.診療科：呼吸器内科・消化器内科・内分泌代謝糖尿病内科・循環器内科・腎臓内科・腎臓外科・一般外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・形成外科・産婦人科・泌尿器科・麻酔科・皮膚科・眼科・放射線科・精神科・総合診療科・女性総合診療科・救急科
- 7.併設施設：健康管理センター、介護老人保健施設
- 8.管理料の算定件数

管理料等の算定件数 (R4年度1ヶ月平均値)	薬剤管理指導料	435件	一般撮影	2,751件	C T 撮影	557件	M R I 撮影	177件
	検体検査	2,484件	微生物学的検査	317件	生理機能検査	2,797件	病理検査	630件
	栄養食事指導料	172件	心大血管疾患リハ	188件	脳血管疾患等リハ	71件	廃用症候群リハ	180件
	運動器リハ	1,566件	呼吸器リハ	173件	がん患者リハ	551件	医療機器安全管理料	2件

医療政策に対する取り組み④

当院では、5疾病5事業の指標として以下の取り組みを行っております。

【5疾病に対する取組】

1.脳卒中に対する取組

脳血管疾患等リハビリテーション

2.急性心筋梗塞に対する取組

心大血管リハビリテーション

3.糖尿病

教育入院を行う医療機関

【5事業に対する取組】

1.救急

救急告示病院・輪番体制病院・二次救急輪番病院

2.その他

エイズ拠点協力病院・難病医療協力病院・臨床研修病院（協力型）・臨床試験（治験）第Ⅰ～Ⅲ相・医療安全対策室・専従・専任リスクマネージャー配置・専従医師事務作業補助者配置・電子カルテ・院外処方箋発行率95.9%

診療活動の記録(診療業務)⑤

当院は平成25年に救急告示病院の指定を受け、二次救急医療機関として数多くの救急患者を受け入れております。

また、がん治療にも特化しており外来化学療法件数は年間3900件を超えています。特に乳がん手術は年間470件を超えており県内でも1位の実績となっております。

令和2年度から4年度の診療実績は以下のとおりです。

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
診療業務	入院	実働病床数(4月1日時点)	154 床	154 床	154 床
		1日平均入院患者数	111.3 人	122.3 人	112.8 人
		1日平均新入院患者数	9.0 人	9.6 人	8.9 人
		病床利用率	72.3%	79.4%	73.3%
		急性期病床	72.3%	79.2%	78.1%
		地域包括ケア病床	-	-	89.4%
		平均在院日数	12.4 日	12.7 日	12.6 日
		急性期病床	12.4 日	12.7 日	0.0 日
		地域包括ケア病床	-	-	0.0 日
		患者一人当たり入院単価	55,655 円	57,208 円	59,725 円
	急性期病床	55,655 円	52,993 円	59,481 円	
	外来	1日平均外来患者数	300.1 人	325.6 人	305.2 人
		1日平均新外来患者数	28.5 人	31.9 人	33.3 人
		外来新患率	9.5%	9.8%	10.9%
		患者一人当たり外来単価	22,301 円	23,738 円	23,875 円
	紹介	紹介率	67.8%	65.7%	61.9%
		逆紹介率	50.8%	50.9%	48.7%
	救急	救急搬送依頼件数	868 件	1,213 件	1,730 件
		救急搬送患者数	816 人	1,134 人	1,398 人
		救急搬送応需率	94.0%	93.5%	80.8%
救急搬送患者入院比率		37.6%	36.7%	29.9%	
手術	手術件数	2,716 件	2,895 件	2,901 件	
	うち全身麻酔件数	1,252 件	1,455 件	1,434 件	
透析	透析件数	5,296 件	5,469 件	5,049 件	
	うち入院	1,231 件	1,338 件	1,140 件	
	うち外来	4,065 件	4,131 件	3,909 件	
訪看	訪問看護延件数	64 件	58 件	61 件	
健診	人間ドック、生活習慣病予防健診、定期健診等	18,909 件	19,867 件	20,356 件	
	うち院内実施人数	12,632 件	13,285 件	14,482 件	
	うち院外実施人数	6,277 件	6,582 件	5,874 件	
	一人当たり健診単価※4	20,325 円	22,420 円	20,340 円	
	契約健保組合数	953 件	938 件	939 件	



診療活動の記録(介護)

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護業務	月末定員数(入所) ※5	97人	90人	90人
	入所延人数	30,760人	29,202人	28,245人
	入所利用率	86.9%	88.9%	86.0%
	通所延人数	11,240人	8,940人	7,054人
	通所利用率	81.9%	66.0%	60.5%
	在宅復帰率(老健)	70.4%	79.4%	57.2%
	平均在所日数(入所)	184.5日	216.7日	169.0日
	利用者(入所+短期)一人当たり収入 ※6	10,753円	11,301円	11,710円
	うち入所	10,698円	10,977円	11,589円
	うち短期	11,228円	13,119円	13,334円
	利用者(通所)一人当たり収入	9,200円	9,080円	10,209円

令和4年度に取り組むべき課題の実績⑥

独立行政法人地域医療機能推進機構では中期目標・中期計画達成に向けて、各病院が取り組むべき課題が設定されております。

令和4年度においては新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生等により目標達成に至りませんでした。

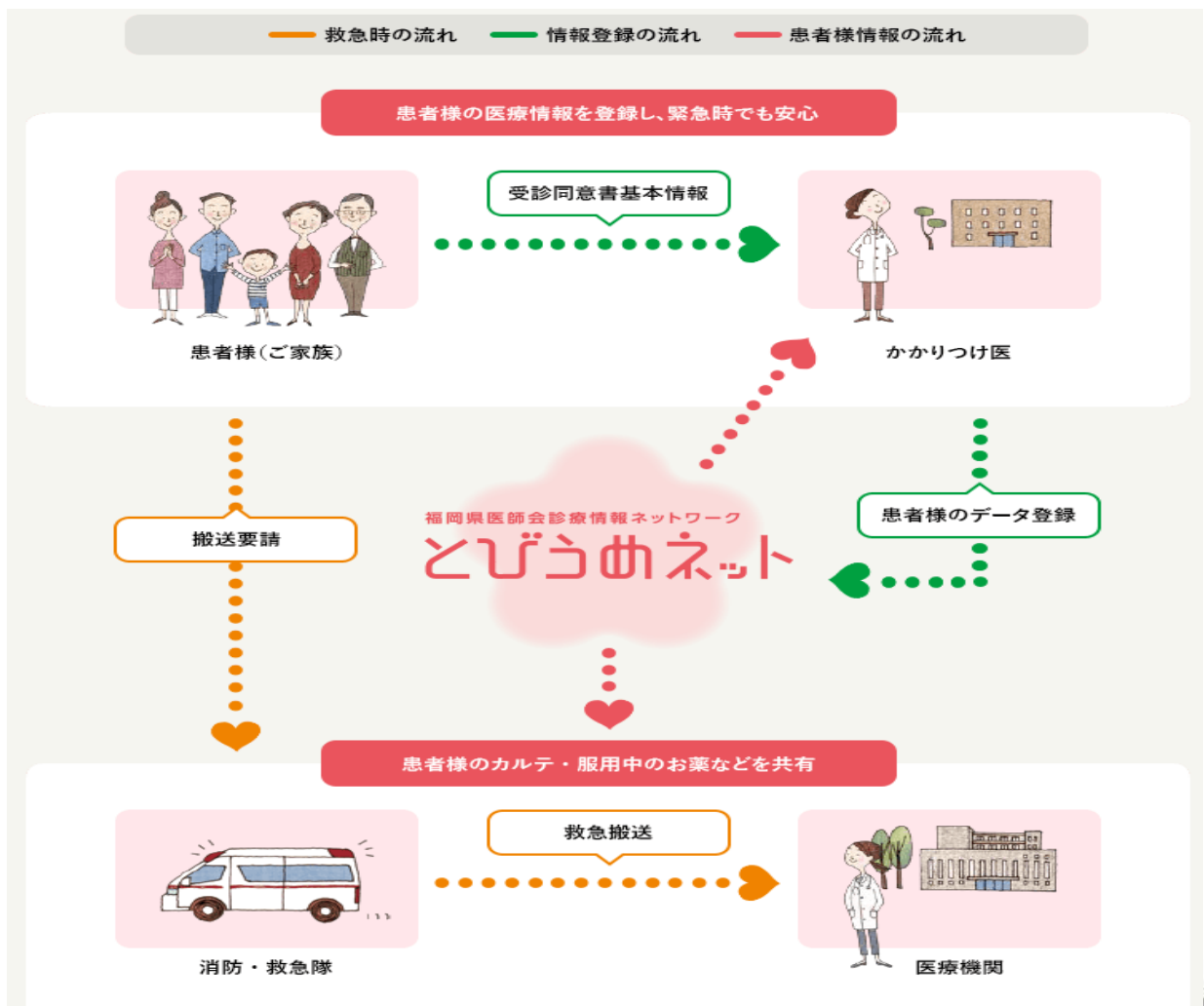
令和5年度は目標達成に向けて取り組んでおります。

項目	中期計画目標	R4年度目標	R4年度グループ病院全体の実績	R4年度当院の実績
①救急搬送需要率	85.0%	90.0%	72.4%	80.8%
②地域市民への教育・研修回数	1,000回	104回	917回	7回
③老健施設の在宅復帰率	55.0%	79.4%	54.0%	57.2%
④地域の医療・介護従事者への教育研修回数	480回	26回	681回	13回
⑤医業未収金比率	0.057%	0.011%	0.037%	0.016%

KICS (Kurume Integrated Care System)における当院の 取り組みについて⑦

【久留米地域包括システム構築拠点事業】

当院は久留米医師会と協働し久留米市中央部（南薫、日吉、長門石、篠山、京町、金丸、鳥飼校区）の医療関連施設を管轄する中核病院としてバックベッド機能を担っております。また、その情報交換ツールとして、ICT（とびうめネット、多職種連携ソフト）を活用し情報共有をすると共に準中核病院の入院ルール及びバックアップルールを策定し、在宅医療の充実強化及び地域全体を支える体制の構築に向けた取り組みを行っております。



久留米警察署からの協力依頼⑧

薬物事件などで任意捜査での尿検査を断り続けた場合には、最終的には裁判所の許可により強制的に尿を採取することとなります。

これは「強制採尿」と呼ばれる捜査方法で当院では、久留米警察署の依頼により強制採尿や強制採血の協力を昼夜を問わず行っております。

【強制採尿・強制採血 実績】

年度	件数
令和2年度	13件
令和3年度	14件
令和4年度	3件

地域住民への教育・研修⑨

令和4年度は地域住民向けの研修会を7回実施いたしました。令和5年度は新型コロナ5類移行に伴い1月までで20回実施しております。

令和4年度 JCHO 久留米総合病院 市民公開講座

市民のための健康教室

会場：当院2階講堂 時間：11:00より

予約の必要はありません。お気軽にご参加ください。

1/17 火

「心臓病の予防 について①」

講師：健康管理センター
センター長 平井 祐治

2/10 金

「転倒予防について」

講師：リハビリテーション科
理学療法士 松尾 健一

1/24 火

「心臓病の予防 について②」

講師：健康管理センター
センター長 平井 祐治

2/15 水

「食習慣を見なおして 脂質異常症を予防しましょう」

講師：栄養管理室
管理栄養士 小園 裕子

1/31 火

「心臓病の予防 について③」

講師：健康管理センター
センター長 平井 祐治

2/22 水

「高血圧」 ～正しい血圧の測り方～

講師：健康管理センター
保健師 深山 真希子

2/28 火

「心臓病の予防 について④」

講師：健康管理センター
センター長 平井 祐治

※講師の都合上、変更もありますのでご了承ください。

受講料無料

独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO 久留米総合病院 健康管理センター

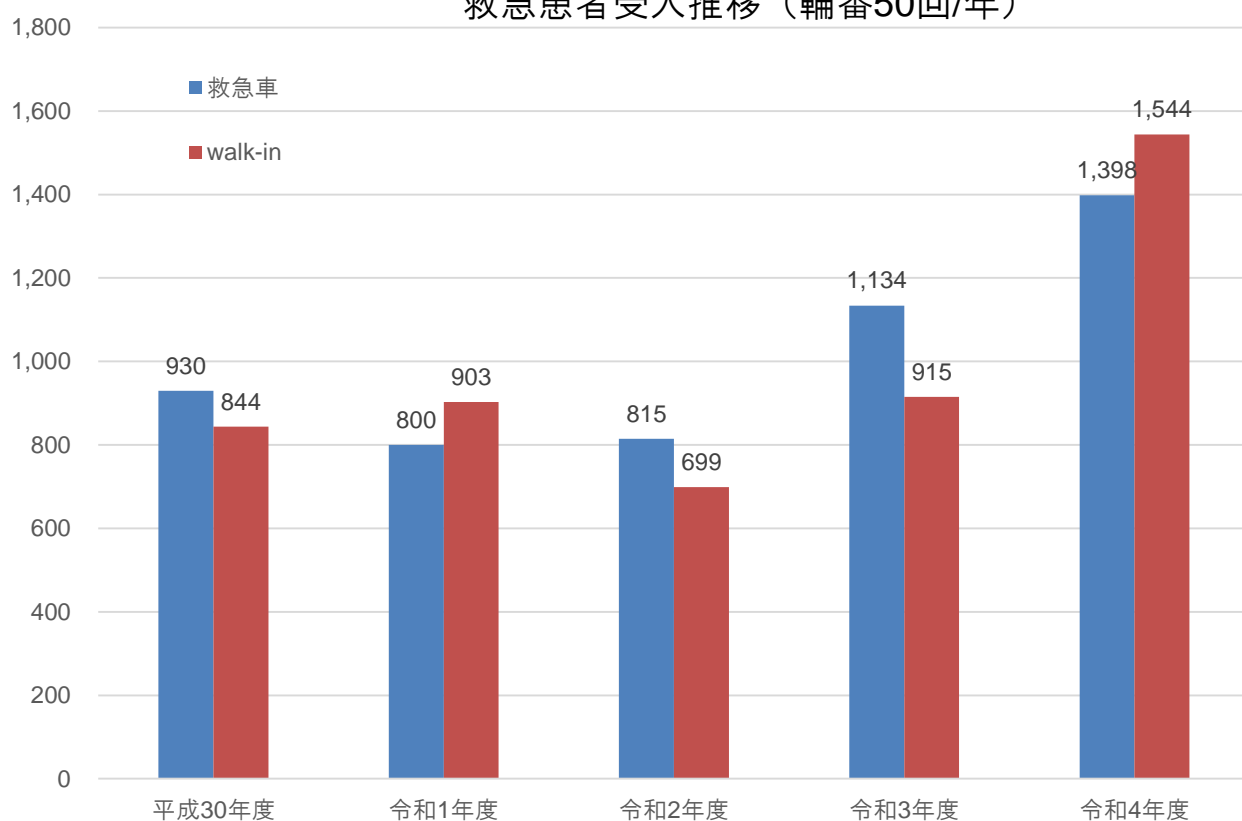
TEL : (0942)-33-1211(代) <http://kurume.jcho.go.jp/>

救急患者受入推移⑩

令和4年度の救急搬送件数は1,398件と平成25年救急告示病院の指定を受けて最も多い件数となっております。また、救急応需率は当院の目標であります90%を下回りました。

8月のクラスター発生により救急患者893件増えたことが要因となっております。今後も地域の救急医療体制に協力していきます。

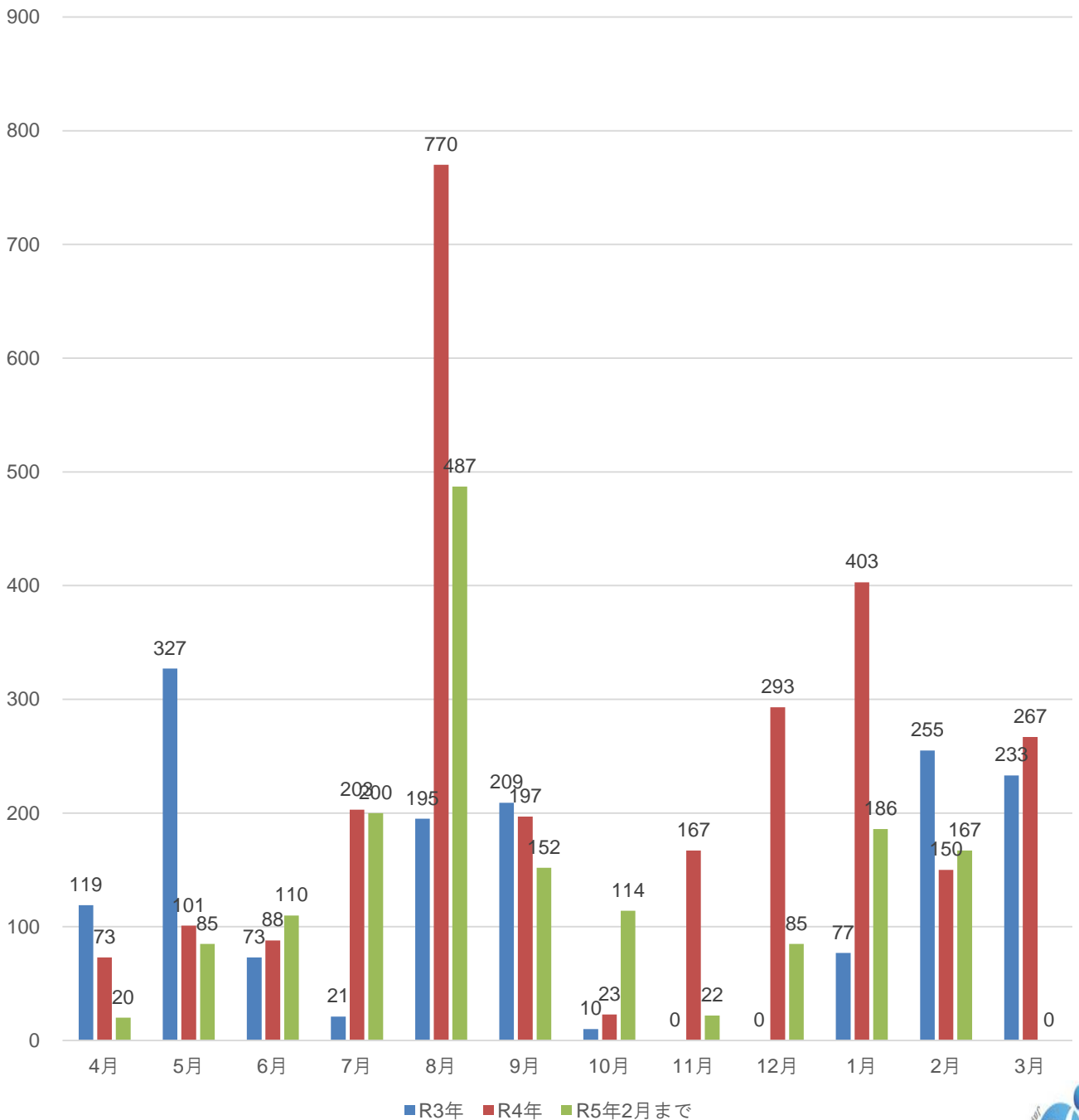
救急患者受入推移（輪番50回/年）



救急応需率	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	93.8%	95.2%	94.0%	93.5%	80.8%

新型コロナ患者 入院受入状況について⑪

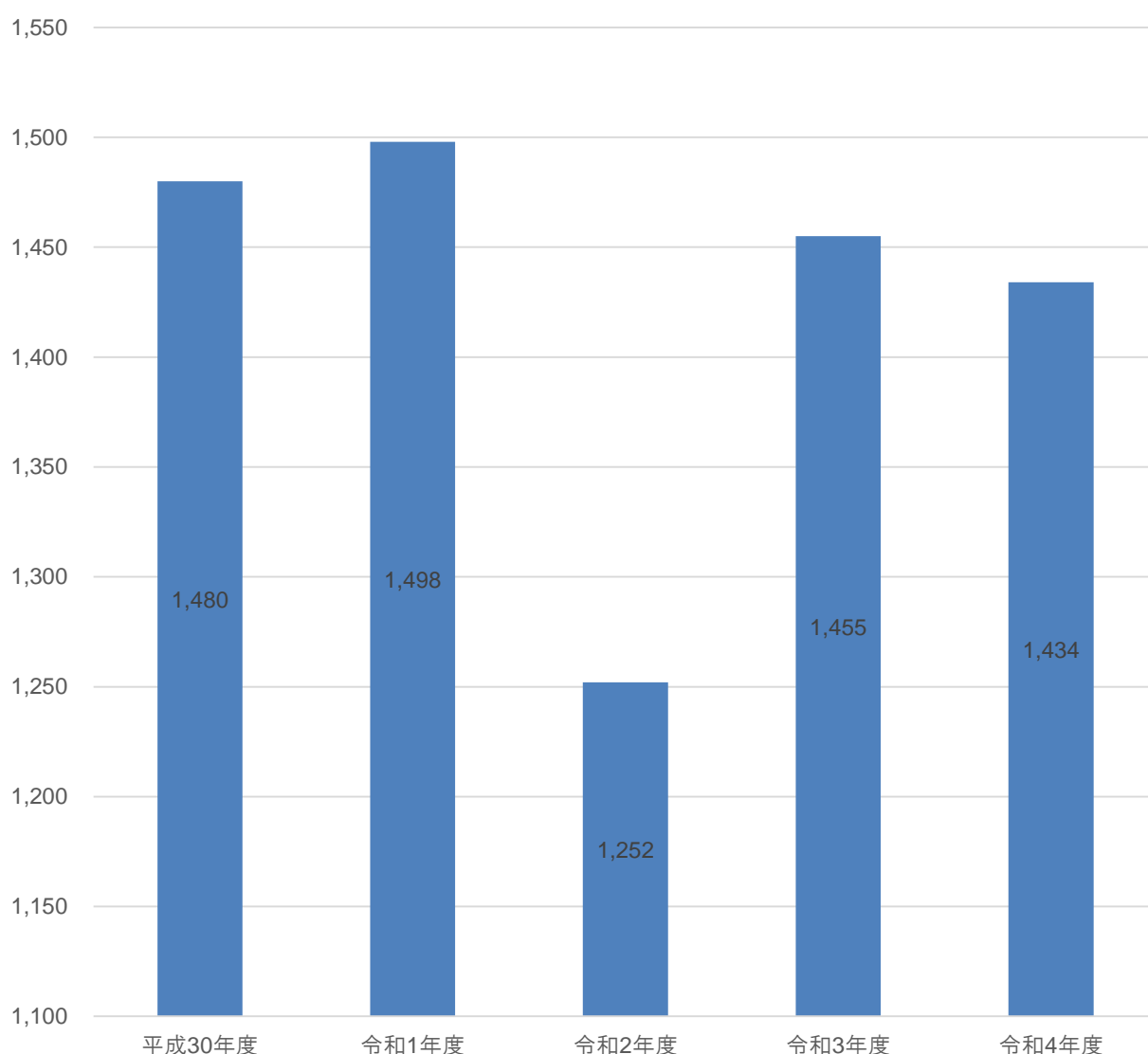
令和4年度の新型コロナ入院患者延数は2,735人となっております。令和3年度と比較し1,216人増加しております。



手術症例件数(全身麻酔)推移⑫

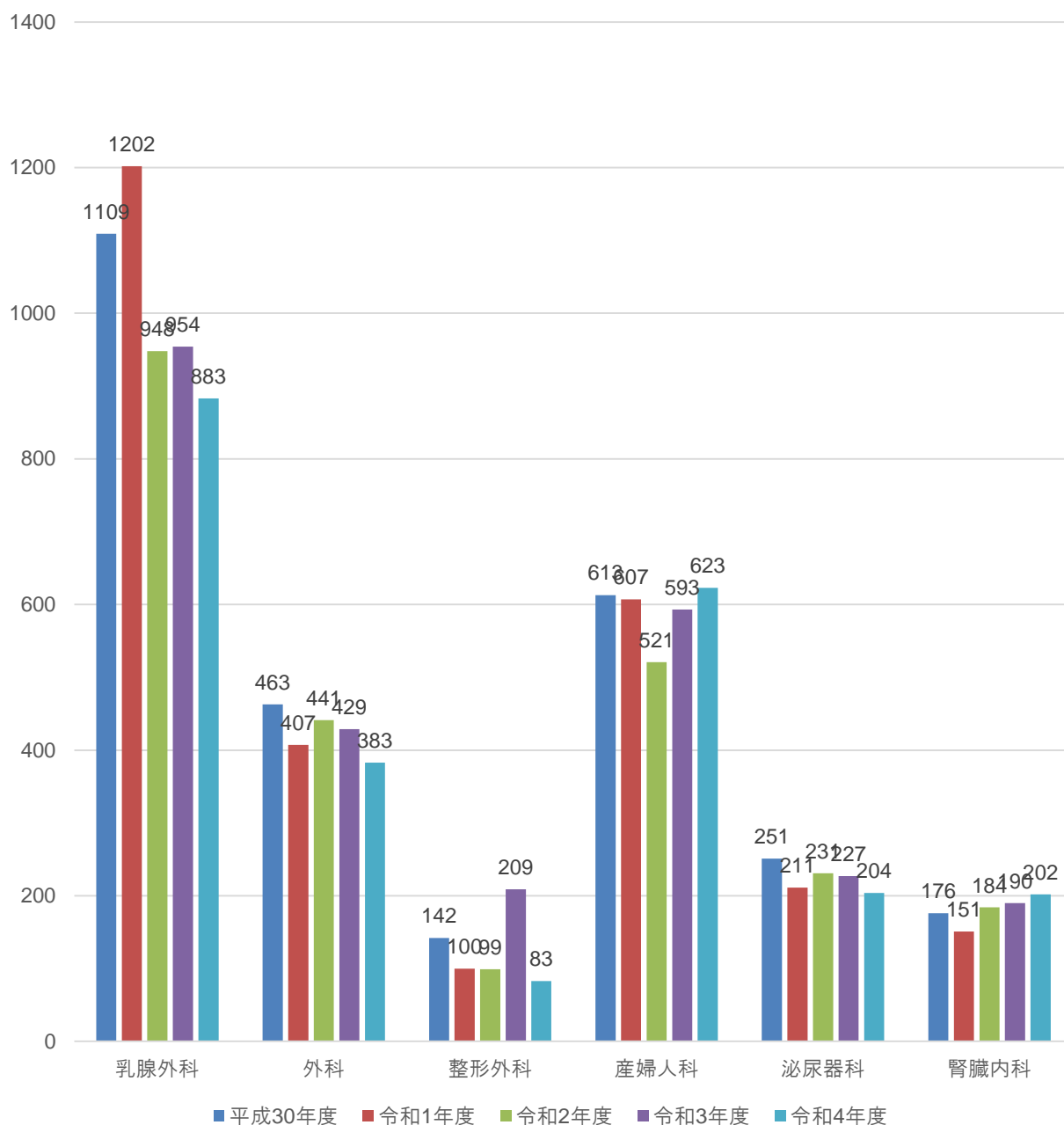
令和4年度の全身麻酔による手術は1,434件で他の同等施設(200床未満)と比較しても非常に多い件数と言えます。また、JCHO機構内においては最も多い件数となっております。

手術症例件数(全身麻酔)推移



診療科別手術件数⑬

令和4年度の診療科別手術件数です。中でも乳腺外科は乳癌手術が年間470件（令和4年度DPC調査より）を超え県内でも1位となる実績があります。また、地域シユアも50%を超えており女性医療において地域医療の要となっております。



化学療法延件数⑭

当院では延べ3997件の化学療法を行っております。

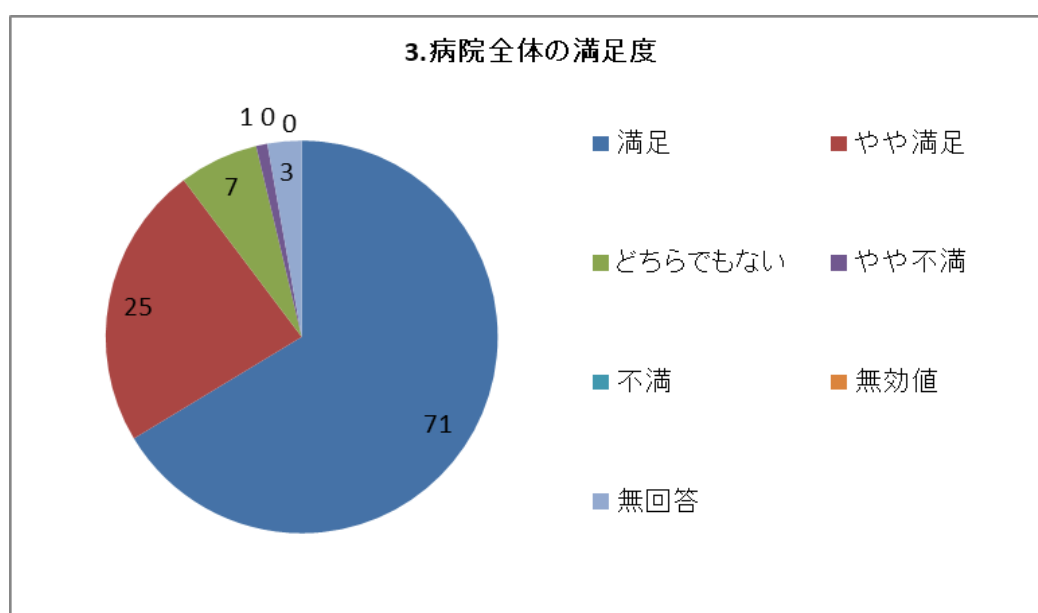
治療中の方に体調の変化が生じた場合は電話相談、外来受診など24時間の対応できるシステムを備えています。また、免疫チェックポイント阻害剤や分子標的治療薬では他診療科、多職種との連携が必須です。チームを組んで診療にあたっています。



令和4年度 満足度調査(病院 入院)⑮

病院評価の指標として患者満足度調査における「満足・やや満足」の割合が90%以上を目標にしておりましたが入院全体の「満足・やや満足」の割合は89.72%で目標にわずかに届きませんでした。不満の声として「売店の品数や入院環境に関する不満」などがありました。

今後も患者様の意見を聞きながら環境改善に努めていきます。

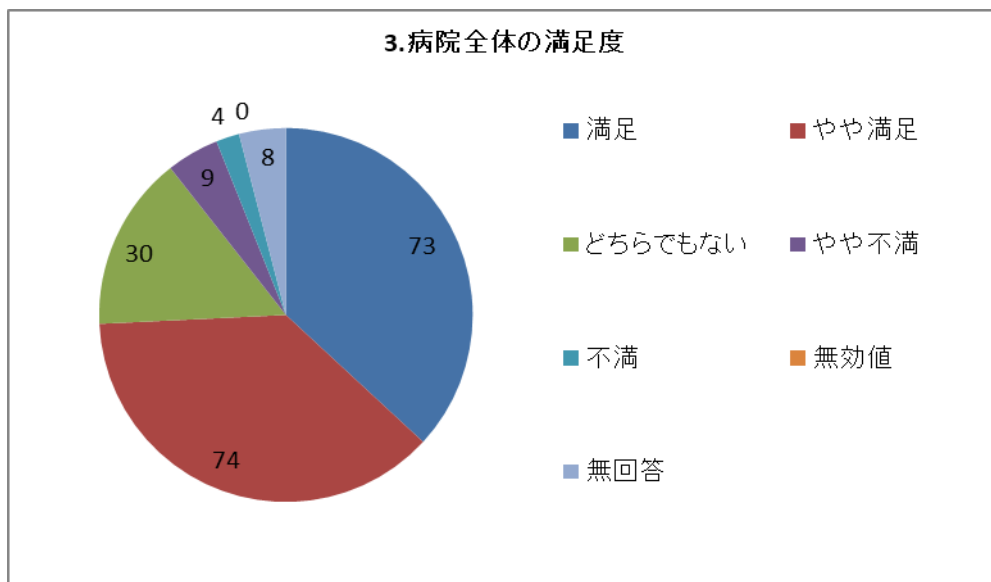


選択肢	回答数	割合
満足	71	66.36%
やや満足	25	23.36%
どちらでもない	7	6.54%
やや不満	1	0.93%
不満	0	0.00%
無効値	0	0.00%
無回答	3	2.80%
合計	107	100.00%

令和4年度 満足度調査(病院 外来)

外来全体の「満足・やや満足」の割合は74.24%で目標達成に至りませんでした。

不満の声の中で最も多かったのは待ち時間の長さでした。いかに待ち時間を快適に過ごせるか、また少しでも待ち時間を少なくするようなシステム構築をしていきたいと思えます。



選択肢	回答数	割合
満足	73	36.87%
やや満足	74	37.37%
どちらでもない	30	15.15%
やや不満	9	4.55%
不満	4	2.02%
無効値	0	0.00%
無回答	8	4.04%
合計	198	100.00%